

川内沢ダムの試験湛水開始について

～平成9年度の調査着手から約30年、ダム運用の安全性を確認する最終段階へ～

1. 概要

川内沢ダム建設事業は、名取川水系川内沢川における洪水調節及び流水の正常な機能の維持を目的とし、平成9年度から実施計画調査に着手し、長年にわたり事業を進めてまいりました。

この度、水位計等の計測機器の設置が整ったことを受け、運用の安全性を確認するための「試験湛水（しけんたんすい）」を令和8年7月15日（水）から開始することとなりましたのでお知らせします。

2. 川内沢ダムの概要

河川名	一級河川名取川水系川内沢川
位置	名取市愛島笠島
目的	洪水調節 流水の正常な機能の維持
湛水面積	0.18 km ²
形式	重力式コンクリートダム
堤高	36.7 m
堤頂長	140.0 m
堤体積	51,000 m ³
総貯水容量	1,790,000 m ³



川内沢ダム(令和8年4月撮影)

3. 試験湛水

試験湛水とは、ダム本体完成後に初めて実際に水を貯め、ダム本体や周辺の斜面などに異常がないか、安全性を確認する極めて重要な工程です。

- ・開始日時：令和8年7月15日（水）午前11時から
※天候により変更になる場合がございます。
- ・実施内容：当日、堤内仮排水路に閉塞ゲートを設置します。ゲート設置後、貯水池内の水位を「①洪水時最高貯水位(EL. 65.20m)」まで上昇させ、その後、「②平常時最高貯水位(EL. 58.50m)」まで下降させます。
- ・実施期間：水位の上昇・下降を含め、規定の貯水位（洪水時最高貯水位・平常時最高貯水位）に達するまで実施します。

4. 安全管理と環境への配慮

- ・監視体制：試験湛水期間中は、各種計測機器を用いてダムの挙動を24時間体制で監視し、安全確保に万全を期します。
- ・下流への影響：湛水中でも河川の維持に必要な流量は確保し、下流の環境維持に努めます。

5. 取材について

試験湛水の開始（閉塞ゲート設置）当日、現地での取材が可能です。取材を希望される場合は、7月10日（金）の正午まで、下記担当者あてメールにて申込願います。

なお、天候により変更になる場合がございます。

【試験湛水に関する連絡先】

担当者：宮城県仙台地方ダム総合事務所 吉田・遠藤
連絡先：022-372-2927（直通）
Email：sddanke@pref.miyagi.lg.jp

○試験湛水の取材場所等については、以下となります。



※川内沢ダム管理事務所の駐車場（赤着色の位置）から、ダム貯水池内の堤内仮排水路における閉塞ゲート設置の様子をご取材いただけます。

※取材場所から閉塞ゲート設置箇所までは距離がありますので、望遠レンズ等のご用意をお勧めします。また、当日は安全のため、係員の誘導に従い指定のエリア内での撮影にご協力ください。

川内沢ダム試験湛水 取材申込書

令和 8年 月 日

申 込 書	報道機関(会社名)				
	担当者氏名		人数	名	
	連絡先・電話等	〒 TEL: E-mail:			
	使用車両	使用の有無 (どちらかに○印)	車種	色	ナンバー
有 ・ 無					

※お手数ですが、令和8年7月10日(金曜日)正午までに下記担当者あてメールにて申し込み願います。

お申込み先: 宮城県仙台地方ダム総合事務所 建設班

E-mail: sddamke@pref.miyagi.lg.jp

TEL: 022-372-2927